

長浜まちづくりワークショップ 1億円プロジェクト 『さあ！君ならどう使う??』 新聞記事



1億円の使い道を発表する中高生たち
(長浜市・長浜市役所)

1億円使い道は?

8/3朝日 中高生、社会見据え討論

長浜

長浜市八幡東町の長浜市役所で2日、市内の中高生を対象にしたワークショップ「1億円を人のために使う君ならどうする」が開かれた。

「大好き長浜再発見事業」として、青少年を指導する有志でつく

た。花火大会の寄付をネットで募ることなどで長浜をPRする作戦や、長浜北部での病院の建設、ホームレス保護施設の建設、小中学校に行けない子どもたちへの支援などの案が披露された。

審査委員長を務めた藤井勇治市長は「次代を担う中高生たちが、今の社会の課題をしっかりとりあえている」と話していた。

(糸井則次)

8/12朝日

長浜で中高生のワークショップ

中学生らに長浜市を好きになってもらおうと活動する市民有志のグループ「湖北学生応援会議」(福永諭介代表)と市が市役所で、中高生向けのまちづくりワークショップを開催した。

副題は「1億円プロジェクト さあ！君ならどう使う??」。中学生39人と高校生9人の計48人が参加した。9チームに分かれ、各自の考えをぶつけあい、チームとして意見を集約。模造紙に発表原稿を書き、藤

井勇治市長ら3人の審査員の前に披露した。

提案には、県北部と福井県をカバーできる病院やホームレスや行き先のない子どもたちの保護施設の建設や空き家を利用した老人ホーム兼託児所の整備などがあがった。具体的な費用も見積もった。

藤井市長は「提案してくれたことは、市でも取り組んでいる課題で、次の世代を担うみなさんがしっかりと受け止め、いろんな考えを持っていてくれるんだな」と感激し、力強く感じた」と講評した。



人のため1億円 一番の使い道は